

(案内①)
弘園 け 第20号
令和8年3月1日

運営推進会議 関係者各位

社会福祉法人東京弘済園
三鷹市高齢者センターけやき苑
所長 石川 まゆ美

認知症対応型通所介護「けやきの会」
運営推進会議の開催について

拝啓 初春の候 ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。
当苑の事業につきましては、平素よりご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、令和7年度第2回の運営推進会議を下記の日程で開催することを計画しております。ご多忙のところ恐縮ではございますが、ご出席方よろしくお願い申し上げます。連絡が遅くなり大変申し訳ございません。 敬具

記

1. 日 時：令和8年3月24日（火）13：10～14：30
2. 場 所：けやき苑
3. 内 容：①令和7年度下半期「けやきの会」事業の実施状況
②認知症対応型通所介護の見学
③質疑応答、意見交換

*当日の出欠については、3月14日（土）までに FAX 又はお電話、メールでご連絡下さい。

（FAX での返信の場合は、出欠の有無に○印をつけて送信をお願いします）

3月24日（火）13：10～14：30の運営推進会議に

・出席します

・欠席します

けやき苑 電 話：0422-34-5440
F A X：0422-34-6538
E-mail: keyakien@kosaien.or.jp
担当：有江、船橋

令和7年度 けやきの会

運営推進会議のご案内

運営推進会議とは…

「運営推進会議」は、けやきの会の活動や運営状況について、地域の方に知ってもらい、よりよい活動になるように意見交換などを行なう場です。この会議には地域の方やご利用者のほかに、けやきの会の活動を知っていただく機会としてご家族にもお声をかけております。ご多忙とは存じますが、参加していただける場合はお電話又は下記の用紙を連絡ノートに入れてお返事をお願いします。

記

日時：令和8年3月24日（火） 13：10～14：30

場所：けやき苑 食堂

内容：①「けやきの会」事業の実施状況

② 活動見学

③ 質疑応答、意見交換

連絡先：けやき苑 34-5440（有江・船橋）

..... 切り取り線

けやきの会 運営推進会議に参加します

参加ご家族のお名前： _____

（ご利用者のお名前： _____）

けやき苑認知症対応型通所介護事業 利用実績等(令和7年度下半期)

資料①

【実績及び利用状況】(令和7年10月～令和8年3月)

<実施日数>

10月	11月	12月	1月	2月	3月
26日	23日	24日	23日	22日	19日

2026/3/24現在

<登録人数>

10月	11月	12月	1月	2月	3月
21	22	23	24	24	25

<新規受入数>

10月	11月	12月	1月	2月	3月
0	2	2	2	1	1

新規8名のうち2名は一般型からの移行でした。

新規6名の見学の時にご本人のご様子から認知型にお勧めした方もいますが、ご家族が希望して利用開始された方もいました。

<終了者数>

10月	11月	12月	1月	2月	3月
0	1	1	1	1	0

長期入院2名、ご逝去1名、他デイへ移られた方1名でした。

<曜日増受入数>

10月	11月	12月	1月	2月	3月
0	1	1	0	1	1

4月から2名の方が曜日増を予定しています。

<利用者年齢> 平均87.16歳

65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳～
0	2	3	1	7	12	0	0

70代の方のうち3名は身体機能高く、帰りたくなるお気持ちもあります。

90代の方が多い状況に変わりありません。

常時車椅子を使用する方は2名、歩行器利用の方が5名、杖歩行5名、手引き歩行1名、独歩の方11名です。車椅子の方も短距離でも歩行するようにしています。

<通所回数> 平均2.28回

1回	2回	3回	4回	5回	6回
9	4	9	2	1	0

*週3回の通所の方が増えていますが、新規利用者の方は1回から始めており、週1回の方が多い状況です。

<利用年数>

半年未満	半年～1年	1～2年	2～5年	5～10年	10年以上
5	5	4	9	1	1

<要介護度別の実利用者数>

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要介護1	5	5	5	4	4	5
要介護2	6	6	8	8	7	7
要介護3	3	5	5	6	7	7
要介護4	4	4	3	3	3	3
要介護5	1	2	2	3	3	3
申請中	2	0	0	0	0	0
合計	21	22	23	24	24	25

10月～区分変更申請された方が3名 要介護2→5(利用中) 1→4(入院中 その後再開)
1→4(入院中 そのまま終了)でした

<延べ利用者数、一日の平均利用人数、利用率>

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要介護1	38	41	40	34	36	
要介護2	57	45	63	48	47	
要介護3	34	41	36	39	31	
要介護4	47	31	33	24	30	
要介護5	8	18	23	23	21	
申請中	10	0	0	0	0	
総数	194	176	195	168	165	0
1日平均人数 (定員12名)	7.4	7.6	8.1	7.3	7.5	
利用率	61.6%	63.3%	67.5%	60.8%	62.5%	

長期で休まれた方もいたため、利用率としては上がっていません。

<令和8年3月24日現在の曜日別登録人数> 1日定員12名

	月	火	水	木	金	土
要介護1	1	2	2	3	1	2
要介護2	3	4	0	4	3	2
要介護3	3	3	1	3	4	1
要介護4	1	2	1	1	1	2
要介護5	1	1	2	1	0	2
申請中	0	0	0	0	0	0
合計	9	12	6	12	9	9

*曜日により差があり、受け入れに余裕のある日もあります。

登録人数25名のうち、女性19名、男性6名です。

そのうち、14名が入浴サービス利用、定期的にショートスティ利用しているのは4名です。

	対象名	日付(期間)	記録内容
1	女性S氏	25/11/14 16:30	S氏の連絡袋がC 3便のBOXに入っていることに、3便出発時に気付く。 S氏を送った職員に確認したところ、他利用者の連絡袋がB 2便BOXに入っており、間違えて本人に渡してしまったとのこと。 →本人宅に職員が向かい、本人から連絡袋を受け取り、ご本人のものをお渡しする。 対策： ①受付職員がBOXに入れる際、名前・便名を確認する。 ②送迎職員が連絡袋の名前を確認する。 ③送り、本人に渡す時に名前が合っているか、確認する。
2	女性Y氏	25/12/06 15:45	リハ室に私物の歩行器が置きっぱなしになっているのを発見し、1階に下ろす (本人は2便での送迎で、乗車直前だった)
3	男性K氏	26/02/17 13:30	午後の活動へ移動時 階段を下りて、そのまま外へ出ようとしているところに遭遇。 ボランティアさんも声をかけてくれた。 昼リハ時から落ち着かずに、個別対応をしていた。 活動へ移動するときになり、目が離れ、そのまま下へ降りてしまった。 夕礼から ◎最近の様子として、自分はここにいていいのか？何も役にたてないとの発言聞かれている。 何か、集中して取り組めるものがあるといいか？手先を使うものなど、色々試しながら、落ち着いて過ごせるものを見つけていきたい。
4	女性S氏	2026/02/20 9:40	ご自宅の門を出て、バスに乗車するところで。 門を出たあとの段差につまずいたのか、前方に勢いよく倒れ込む形となったが、だきかかえることができ、ケガはしなかった。 腕などを支えて歩くのは、本人が嫌がることもあり、前で様子を見ていた。 外出時に、玄関で転倒した経緯もあり、気をつけてはいたので、とっさにかかえることはできた。 玄関を出てから車に乗りこむまでは特に注意し、何かあれば支えられる位置にいるようにする。
5	女性N氏	26/03/10 15:15	送りのバス車内にて、他利用者の降車中に、シートベルトを外していた様子。つくば職員が気が付き、声をかけて発覚した。ゴソゴソと動いていたとの事だった。その後もご自身の到着まで2回シートベルトを外そうとする様子があったので、危ないので到着後でお願いしますと声をかけている。 今後も車内での見守りが必要。

	日時	利用者	発生場所	種類	発生状況	原因分析	再発防止策
1	25/11/18 9:30	女性 94才 要介護2	介助浴室	転倒	<p>【発生状況】湯船からあがり、ご本人に手すりにつかまってもらっていた。職員はかがみながら、背中から後側の下肢へ拭いていたところ、足元が少し動いたと同時に背中がつく形で倒れ、支えきれなかった。</p> <p>【事故後の応急処置】音を聞いて、すぐに駆け付けた看護師に立ち上がりを手伝ってもらっても、ご本人は立ち上がれず、もう一人の職員を呼んで対応した。浴室内で車椅子に移りベッド臥床する。</p> <p>ベッド上にて、尾てい骨あたりの赤みはあったが、傷は無し。本人大丈夫を言うが後頭部を触る様子あり、確認するとやや赤み有。嫁にTEL。後頭部をぶつけた可能性から受診も相談したが、本人の反応が悪くないのであれば少し様子を見ての対応でと受診はせず。変化があれば受診していただくように伝える。</p>	<p>転倒リスクのある方だが、立ったままの身体を拭いた。耳が聞こえ辛い方という配慮もかけていた。転倒リスクのある方だったのでお風呂上りには必ず椅子に座らせてからの方がより安全だった。</p> <p>職員のスペースが少ないと気を使って間をあけてくれたりすることがあり、行動範囲の想像力が乏しかった。</p> <p>→その後前週にも湯上りにふらっとしたとの情報あり。意識消失の可能性もあった。</p>	<p>転倒リスクの少しでもある方は、風呂上りには必ず椅子での対応としていく</p> <p>風呂マットの敷かれていないところの見守りは常に目を離さないようにしていく</p> <p>耳の聞こえの良くない方にはしっかりと目を合わせての対応していく</p>
2	26/01/17 9:30	男性 87才 要介護5	バス車内	打撲	<p>【発生状況】バス乗車し、奥の席に座る際に上部の手すりに額をぶつけた</p> <p>【事故後の応急処置】到着後、すぐに入浴の予定であったので、入浴担当の看護師に報告し、見てもらう。</p> <p>→到着時やや腫れがあり、経過を見ていたが、帰る前は本人痛みもなく腫れも見られなかったため経過観察とする。</p>	<p>乗車時に本人が乗り込み座る前に妻からの伝言を聞き、その後本人が座席位置を確認しながら、座ろうとしたときに上部の手すりに額をぶつけてしまった。</p> <p>背が高く、ぶつける可能性があることは普段から意識していたが本人の動きに反応できなかった。</p>	<p>今回、本人が乗り込んで座るまでに妻からの話を先に聞いてしまい、本人が少し待っていた。乗り込んだらまず座るまでしっかり対応する。</p> <p>足の位置、頭の位置を確認し必要などところに手を添える。</p>
3	26/01/20 19:50	女性 92才 要介護4	苑 歩行器内	カバンの返し忘れ	<p>【発生状況】19:50 息子よりTELヘルパーよりいつものポシェットを持ち帰っていないとメールがきたがありますかと問い合わせがあり、確認したところ、歩行器のバック内に入っていた。</p> <p>【事故後の応急処置】電話中に他職員が歩行器を確認し見つけたのでその場で謝罪した。鍵もついているが、ヘルパーが対応できる鍵もあるので土曜の返却でよいと申し出頂いた。</p>	<p>車椅子から歩行器の歩行に移るときに本人がカバンの所在を気にするかと歩行器に入れていたところ、そのままになってしまった。</p>	<p>苑の歩行器を使用した際は帰りに必ず歩行器内に荷物がいないか確認する。</p> <p>通常使わない荷物でご本人が気にならないのであればお預かりしたり、車椅子と一緒にしておくなど荷物の所在を見えるようにしておく。</p> <p>帰りに忘れ物がないか通常の持ち物を意識しておく。</p>
4	26/01/24 17:30	二者間	連絡ノート	個人情報の管理ミス	<p>【発生状況】1/23（金）T氏ご家族より、1/19通所した際に、T氏の連絡ノートにS氏の連絡ノートが入っていた内容のメールあり。</p> <p>1/24（土）そのメールを確認し、管理ミスしていたことに苑として初めて気が付いた。当日、S氏の通所日であり、連絡ノートを確認すると、1/19（月）分の連絡ノートは綴じられていなかった。</p> <p>【事故後の応急処置】双方の御家族へ、謝罪。</p>	<p>他業務も重なり、限られた時間の中で業務遂行することに焦りが生じてしまった。</p>	<p>個人情報を扱うものであり、細心の注意を払う</p> <p>（連絡ノートを綴じる際・連絡袋に入れる際など、複数チェックを行うなど）</p>
5	26/02/02 15:40	女性 90才 要介護2	1階テレビ前	手をはさむ	<p>【発生状況】乗車のために立ち上がり、歩行器のロックを解除する際に左手の指先(人差し指～薬指)をはさんだ</p> <p>【事故後の応急処置】ご本人は指先の軽い痛みを訴る。骨折、出血、赤味の有無を看護師に確認してもらう</p>	<p>本人の歩行器操作に不慣れであった。</p> <p>本人の握っていた箇所が前よりであり、ブレーキ操作をした際に手を挟むリスクが高い事を認識していなかった。</p>	<p>歩行器のロック解除の際は、手を挟むリスクを考慮し、握っている位置が安全であるかを確認してからロック解除する。</p>

三鷹市高齢者センターけやき苑 宛

(ファックス 0422-34-6538)

または

([メール keyakien@kosaien.or.jp](mailto:keyakien@kosaien.or.jp))

令和7年度下半期 けやき苑認知症対応型通所介護 運営推進会議

返信用紙

ご記入者名	ご家族
ご意見・ご要望・ご助言等	利用者家族の交流は体験等聞くことができ参考になりました。頑張ろう…と思わされました。施設内での妻の笑顔は家では見ることでできないすばらしい笑顔でした。

ご記入者名	地域包括支援センター
ご意見・ご要望・ご助言等	本日は、ご利用者家族のお話を聞くことができ良かったです。 お話を伺う限りでは、大変すばらしい対応をされていることが良く伝わってきました。ぜひ、続けていただきたいと思います。そして、もっと地域のイベントに参加して地域住民の方に知っていただくことが一番の営業であり、実績につながっていく事と思いますので、頑張ってくださいだと思います。

ご記入者名	認知症介護に知見を有する者
ご意見・ご要望・ご助言等	利用者様の家族、家族介護経験者が参加された大変良い会議でした。ご家族皆様の苦労は我々事業所よりずっと大変で様々な葛藤があると思います。少しでも役立てるようなことを考えさせられた気がします。これからも家族、介護している方のフォローをよろしくお願いします。より良い地域を共に創っていきましょう。